



「第5回福祉用具専門相談員研究大会」 6月19日開催！！弊社営業社員が 『介護ロボットの施設での効果』 について口述発表！！



去る6月19日に大阪・千里中央にある千里ライフサイエンスセンターにて「第5回福祉用具専門相談員研究大会」が開催され、弊社営業の丸岡が口述発表を行いました。

演題名：

「高齢者施設における自動計測機能付きポータブルトイレ活用の検証」

検証機種：

〔アロン化成 ポータブルトイレFX-30自動計測タイプ〕

神戸市内の2施設において検証し、発表致しました。

- ①介護現場での生産性の向上への効果
- ②入居者様のQOL(生活の質)の改善への効果

の2項目の検証を行いそれぞれの結果と考察、課題を発表し、会場からの多数の質問を頂き、大変高評価を得ました。



**参加者数と口述発表
数が過去最多！大会
としても大盛況！！**

今回初めての地方開催ということで、大阪で開催された研究大会、テーマは「未来を支える福祉用具サービスの可能性～ご利用者が自分らしく生きていくための福祉用具専門相談員の使命と役割～」で、実行委員は公益社団法人関西シルバーサービス協会の理事が中心となり運営を行いました。

特別講演として、兵庫県立大学大学院教授の筒井孝子先生が「福祉用具の利用支援、評価システムの構築」と題し、福祉用具の未来についてのご講義をいただきました。

大阪だけでなく、近畿2府4県の事業所を中心に全国から過去最多の48演題の発表があり、現地参加者406名(こちらも過去最多)、オンライン参加911名、**合計1317名**と大盛況となりました。

- ①多職種や地域との連携
 - ②福祉用具の安全
 - ③データの数値化
 - ④災害時の福祉用具
- といった今後の方向性も見えてきた大会でもありました。

来年は再び東京開催に戻りますが、福祉用具専門相談員の資質向上の観点からも、弊社は引き続き携わっていきたくと思っています。

＊ ＊大会の詳細内容は担当営業にお申し付けくださいませ ＊ ＊(代表：浦野)

